

# AREホールディングス株式会社 2025年3月期 第2四半期決算説明資料

2024.10.30

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# I. 2025年3月期 第2四半期決算 (2024年4月～2024年9月)

## II. 参考資料

売上収益

2,404 億円

前年同期比

+961 億円

2Q累計計画比※

133.5 %

営業利益

83 億円

前年同期比

+26 億円

2Q累計計画比※

97.9 %

※ 中間期の計画値に対する進捗率

## 増収要因

- Au価格が継続的に上昇する中、宝飾分野を中心にAuの回収量が増加

## 増益要因

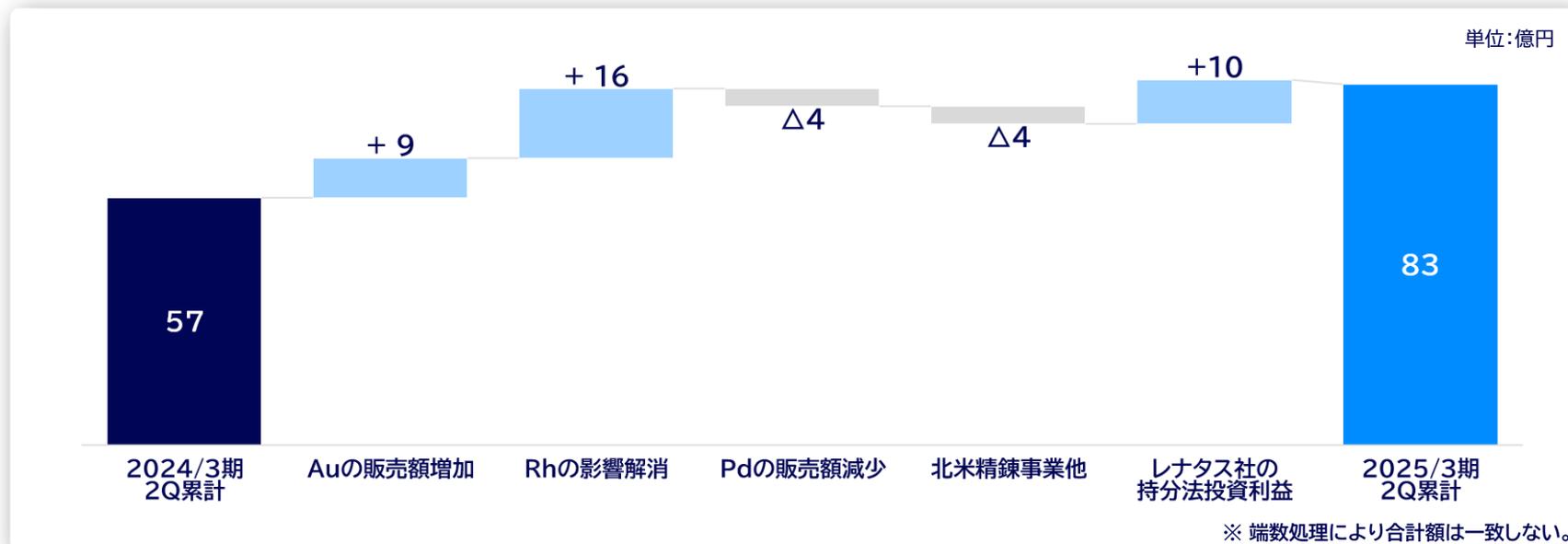
- 前年同期においてはRhの価格下落によって損失が発生したが、当期はRhによる損失は発生せず
- Au価格の上昇および回収量増加
- 当期よりレナタス社の持分法投資利益が発生

単位: 億円

	2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計		2025/3期
	実績	実績	前年同期比 増減	修正予想
売上収益	1,442	2,404	+961	4,800
営業利益	57	83	+26	180
当期利益	53	66	+13	131

※ 「当期利益」は親会社の所有者に帰属する当期利益

※ 2024/3期2Q累計の売上収益、営業利益は非継続事業(ジャパンウエイスト社)を除いた金額



単位:円

貴金属価格 (1gあたり)	2024/3期 2Q(4月~9月)	2025/3期 2Q(4月~9月)	
	期中 平均価格	期中 平均価格	増減
金	8,869	11,813	2,945
パラジウム	6,175	4,876	△ 1,299
プラチナ	4,508	4,858	349
ロジウム	23,022	22,519	△503

【参照元】金…山元建値、パラジウム…日経安値、プラチナ…小売価格(税抜)、ロジウム… Metals Week NY Dealer Prices

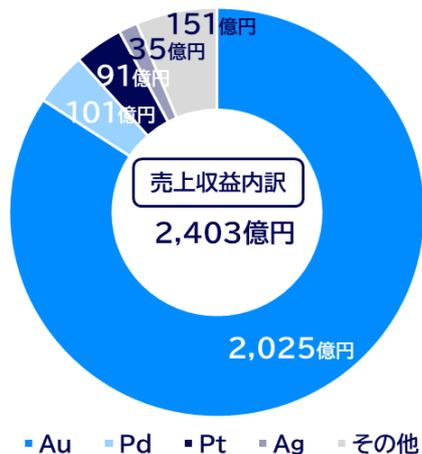
### ポイント

- 宝飾分野を中心に金の回収量が増加
- 北米精錬事業はトレーディング事業が伸張した一方、製品事業が低迷し、減益要因となった
- 前期には非継続事業となったジャパンウェスト社の実績が含まれない一方、当期にはレナタス社の持分法投資損益が含まれる

### 貴金属事業セグメント

売上収益 **2,403** 億円 (前年同期比+961億円)

営業利益 **75** 億円 (前年同期比+16億円)



※「その他」にはRhの販売額および北米精錬事業の売上収益を含む

### 環境保全事業セグメント

売上収益 **—** 億円 (前年同期比—億円)

営業利益 **10** 億円 (前年同期比+10億円)

当期利益 **10** 億円 (前年同期比+10億円)

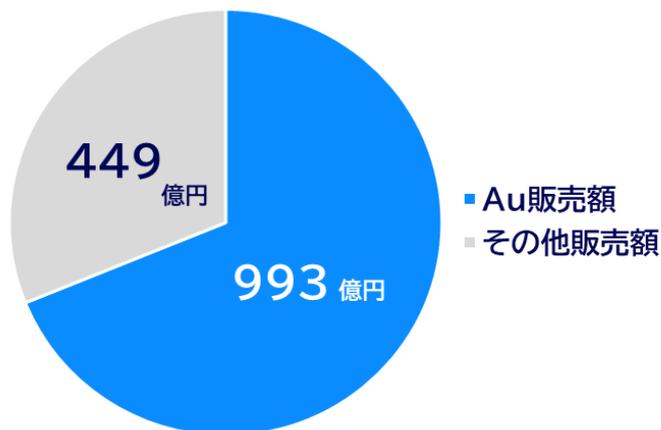
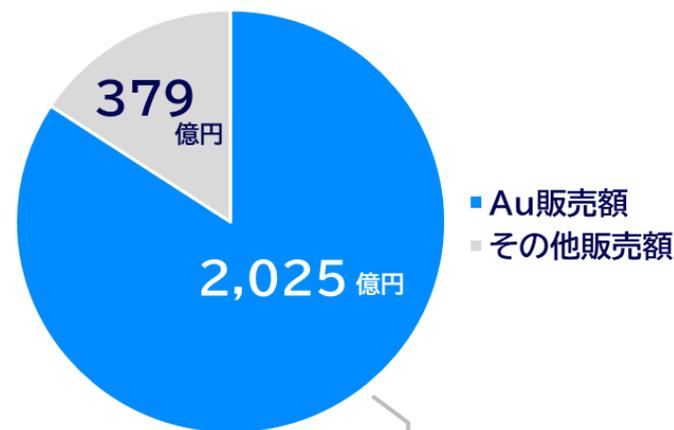
- 当期よりレナタス社の持分法投資損益を営業利益に計上(10億円)
- 前期にはジャパンウェイスト社の実績が含まれない一方、当期にはレナタス社の持分法投資利益が含まれる

※ 前期の売上収益、営業利益、当期利益には非継続事業の実績を含まない

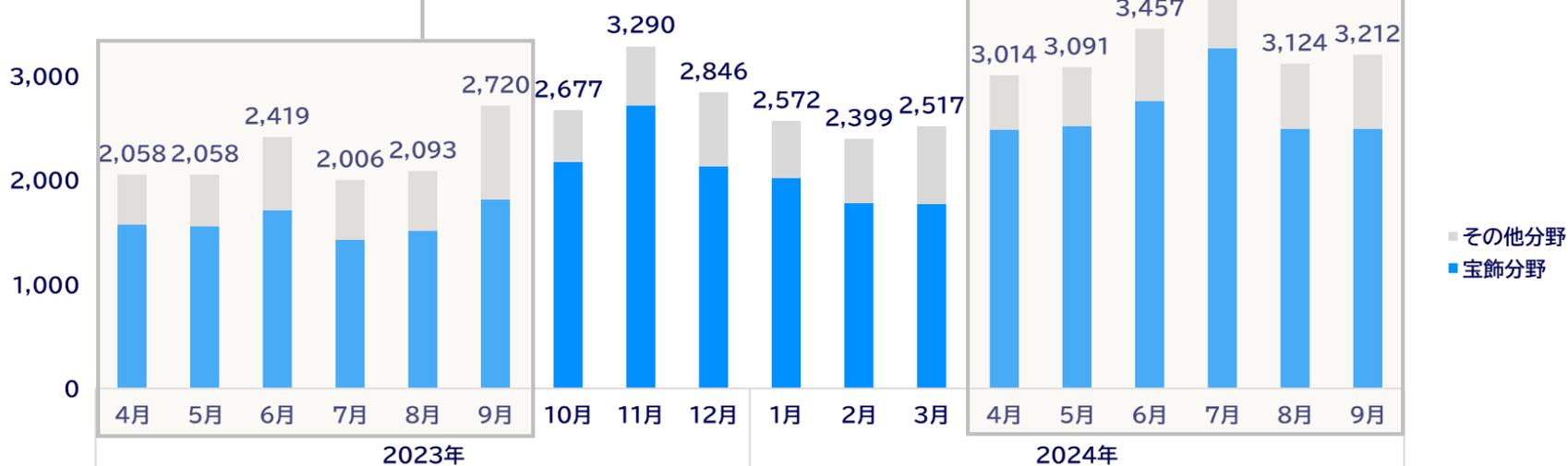
	元素別構成比				事業環境
	Au	Pd	Pt	Rh	
デンタル	 30~50%	 50~70%	 10%未満	—	<b>Au回収量</b> 前年同期比 97% 素材転換や技術革新によりリサイクル市場の縮小は継続するも、営業効率の改善と新たな施策の展開により新規顧客を確保し、前年同水準の回収量を維持。
宝飾	 70%以上	 10%未満	 10~30%	—	<b>Au回収量</b> 前年同期比 167% 金価格高騰は一段落したが、リサイクル意識の高まりからリサイクル市場への流通量は多く、前年同期に比べて回収量が増加。
電子	 70%以上	 10%未満	 10%未満	—	<b>Au回収量</b> 前年同期比 103% BEV需要の低迷で関連企業からの回収量が減少したが、AI半導体関連製品の需要が大きくリカバリーし回復基調。
触媒	—	 50~70%	 30~50%	 10%未満	<b>Pd回収量</b> 前年同期比 97% 大手触媒メーカーの工程改善等で環境系触媒の発生量が減少したことに加え、化学触媒の生産調整の影響を受け大きく減少。

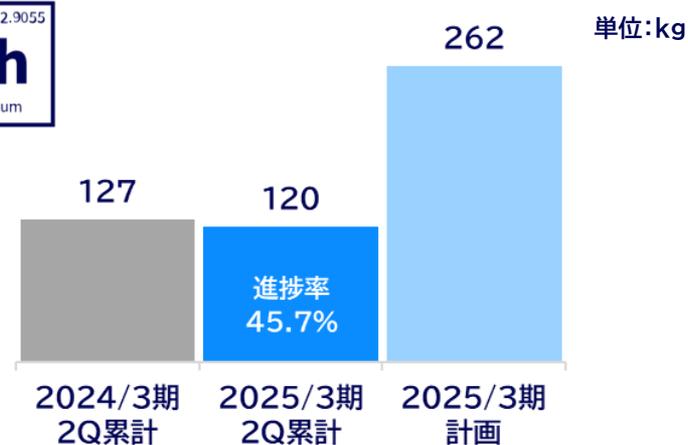
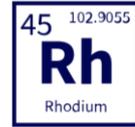
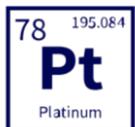
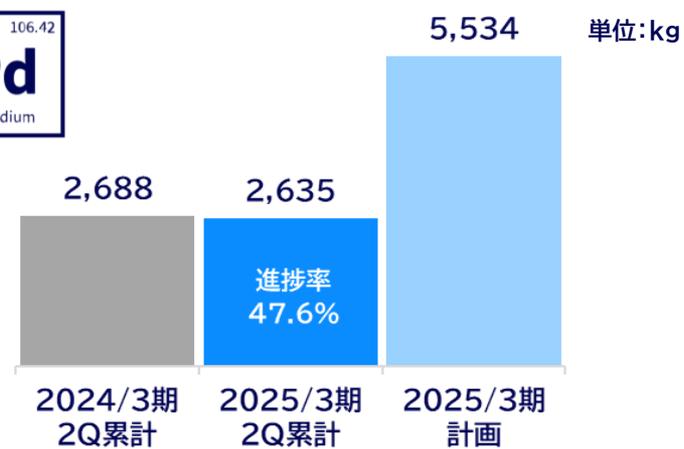
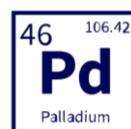
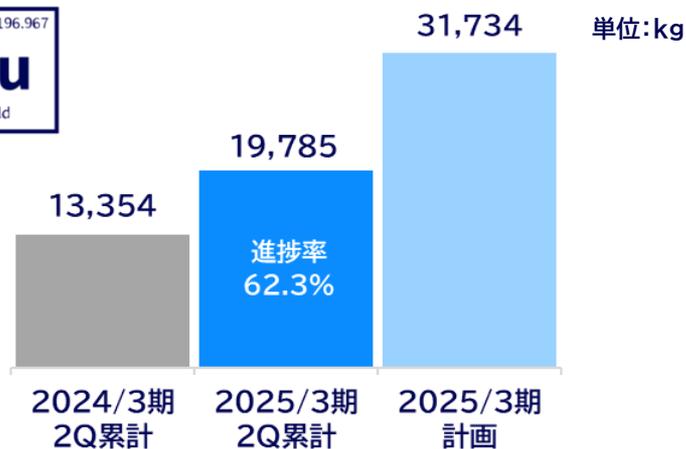
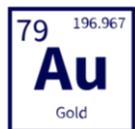
※ 表中のアイコンは各分野の回収量全体(Ag, Cuを除く)に占める割合を示す。

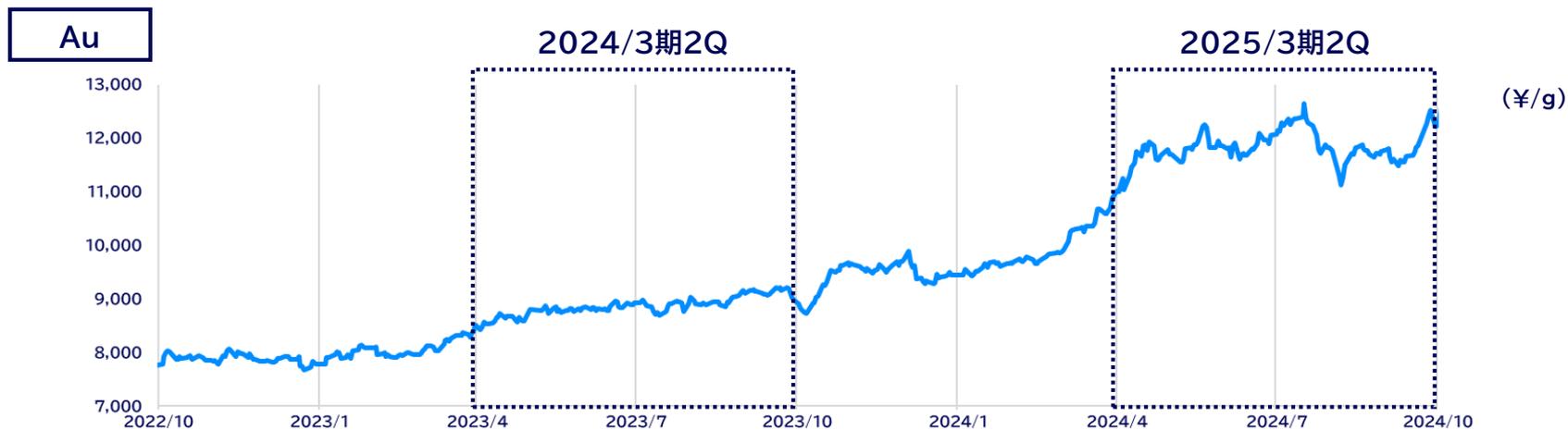
※ 事業環境欄のコメントは前年同期と比較した内容。

2024/3期2Q累計  
売上収益内訳2025/3期2Q累計  
売上収益内訳単位:kg  
4,000

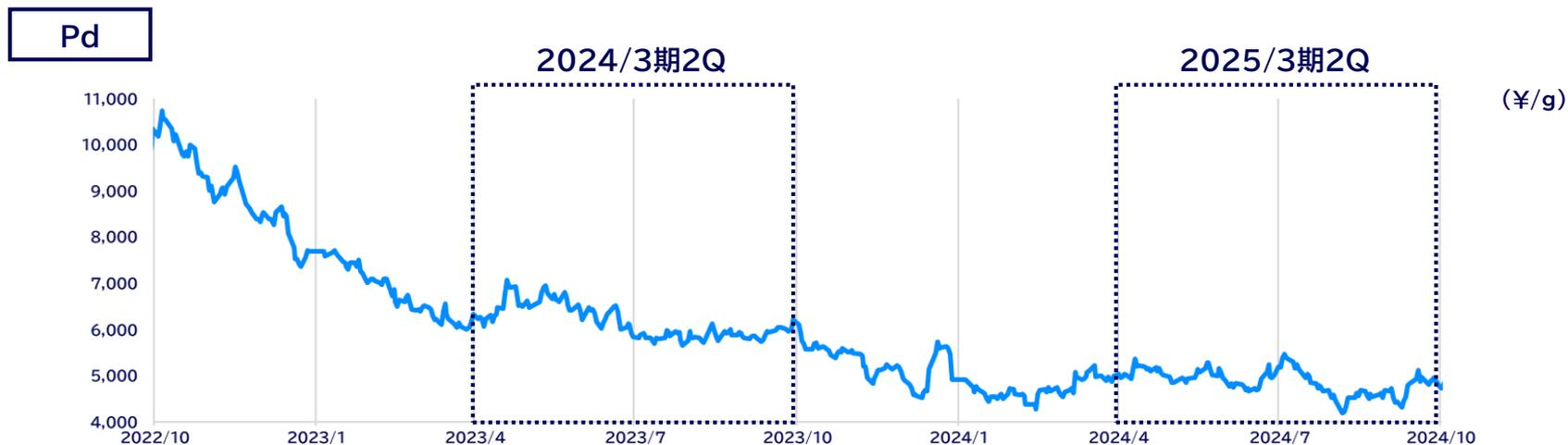
Au回収量の推移







※参照:山元建値



※参照:日経安値



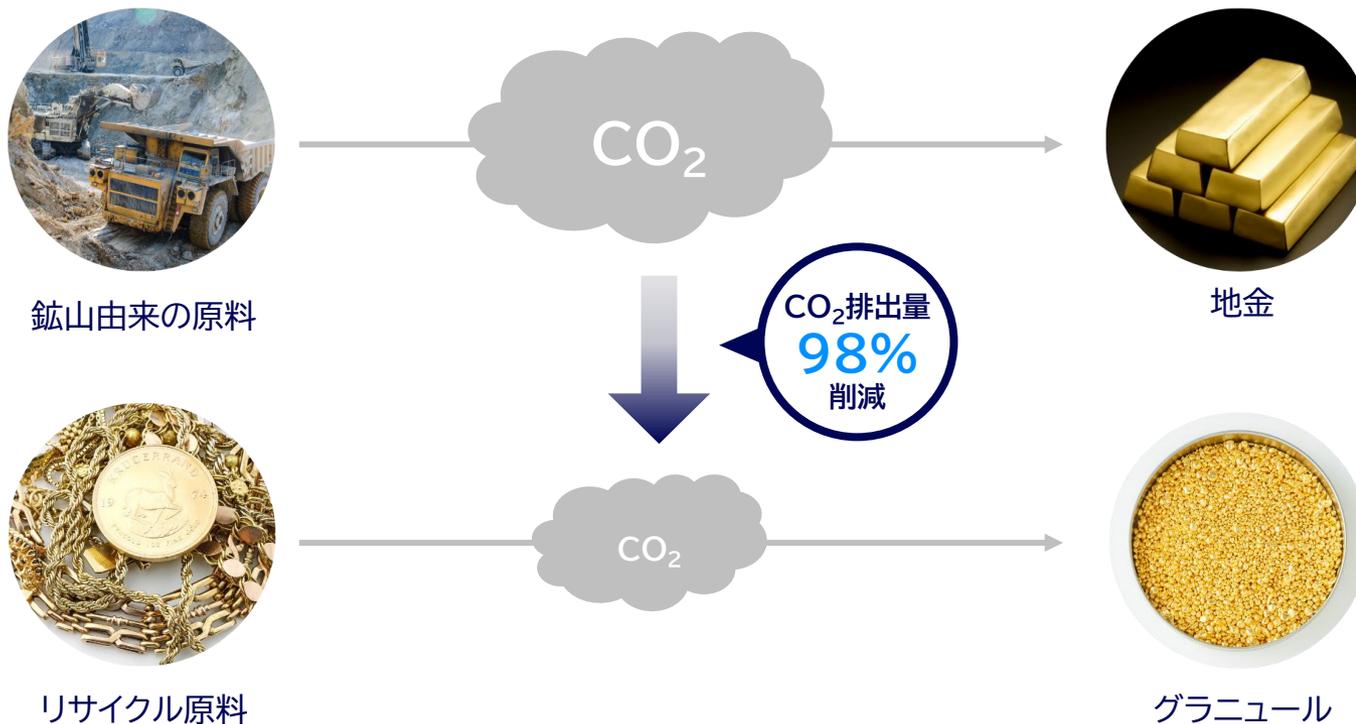
※参照:小売価格(税抜)



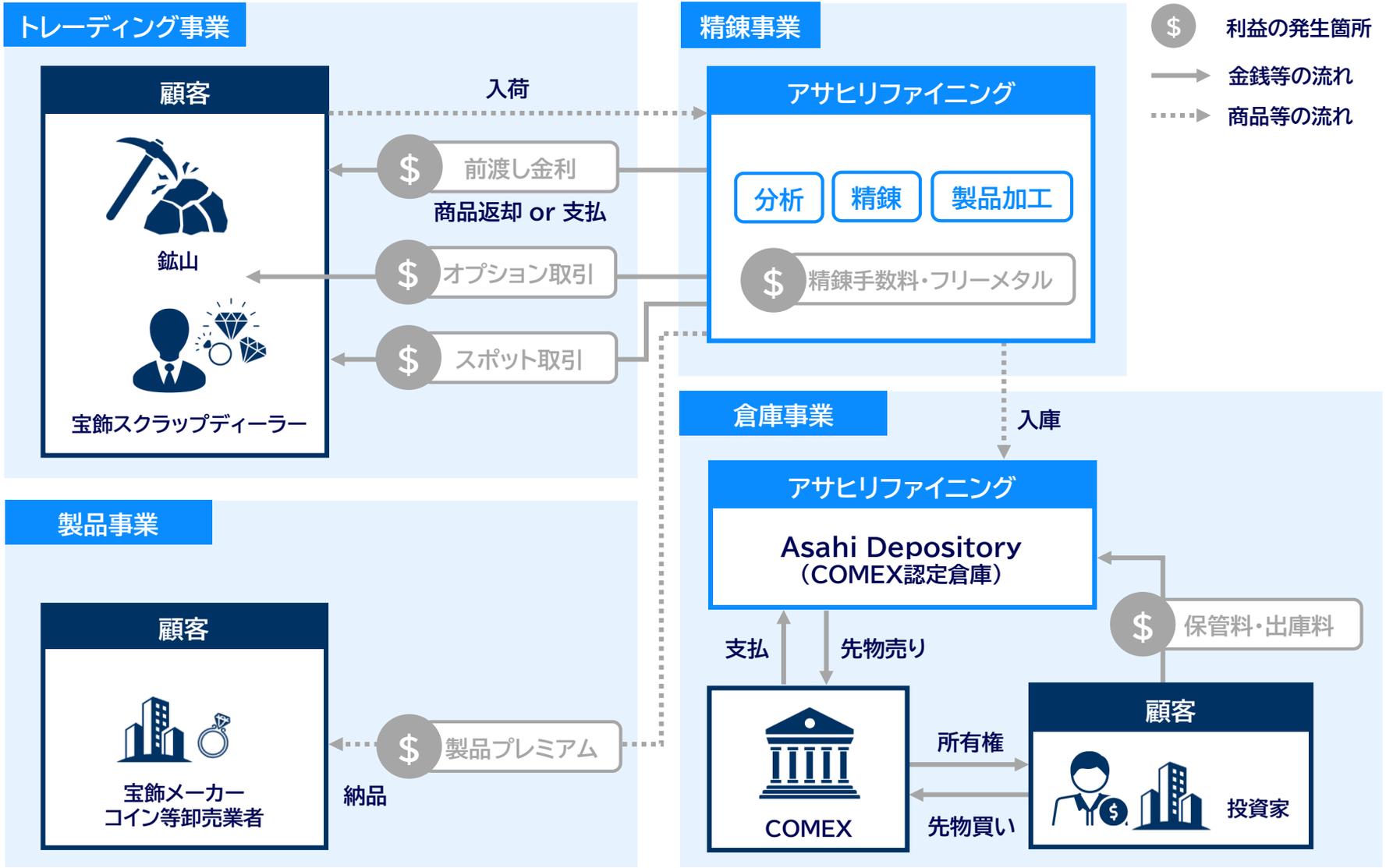
※参照:Metals Week NY Dealer Prices

## 金のグラニュール製品のカーボンフットプリント(CFP)を取得

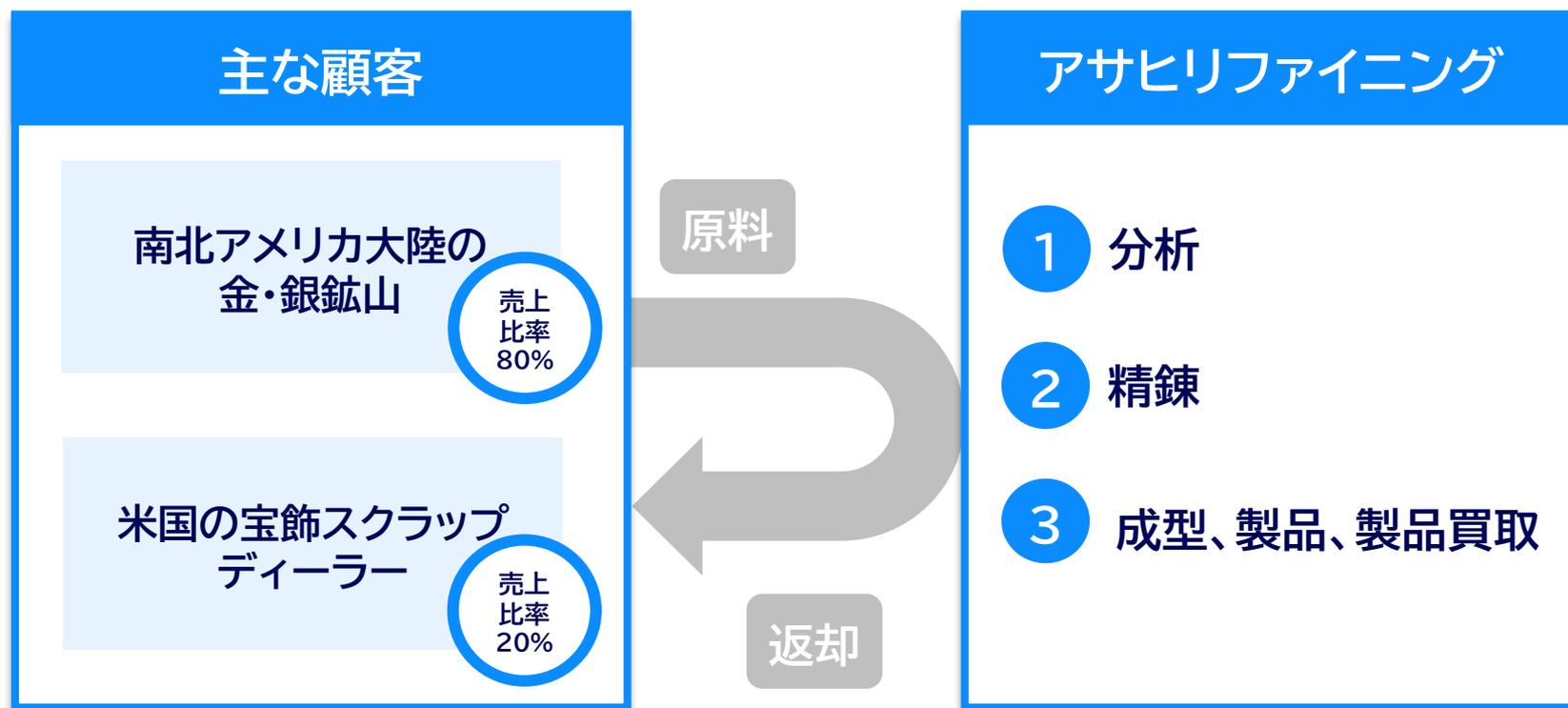
当社の主力製品である99.99%金グラニュールに対し、原料回収から製品製造までのCO<sub>2</sub>排出量の算定並びにISO14040:2006、ISO14044:2006に基づいた第三者検証を実施。



リサイクル原料から作られる当社のグラニュール製品は、採掘由来の原料を使用した地金に比べて、製造過程で排出されるCO<sub>2</sub>発生量を約98%削減できる。



## 精錬の流れ



複数年の精錬契約を結び、精錬手数料と収率差異※(フリーメタル)で収益を得る

※ 実収率と契約収率との差異

## 主要製品

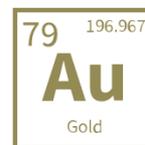


銀100オンスバー



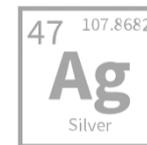
銀1オンスコイン

## 2024年3月期の生産量



金製品

73,000オンス



銀製品

9,800,000オンス

製品プレミアムが収入源

### 製品事業の特徴

- ソブリンミントを製造可能な高度な生産技術力と品質管理能力
- 多様な製品デザインを形にする製品設計能力
- 製品市況の影響を受けやすい事業構造

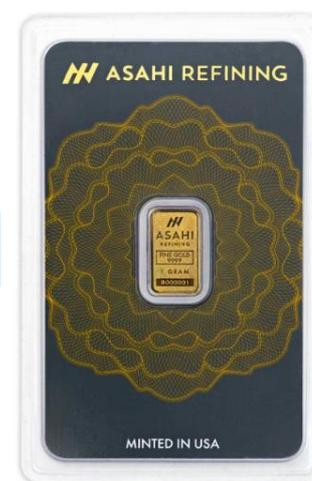
### 解決すべき課題

- 安定したソブリンミント受託生産のための生産設備
- 製品市況に対応する柔軟な事業体制の構築
- 自社ブランド拡充による新規需要の開拓

## 高品質かつ手ごろな価格で購入可能な商品を発売



1オンス(約31g)ゴールドバー

【新発売】  
2.5gゴールドバー【新発売】  
1gゴールドバー

## 課題

近年、金の価格が高騰し続けており、新たに現物の金投資を始めるハードルが上昇

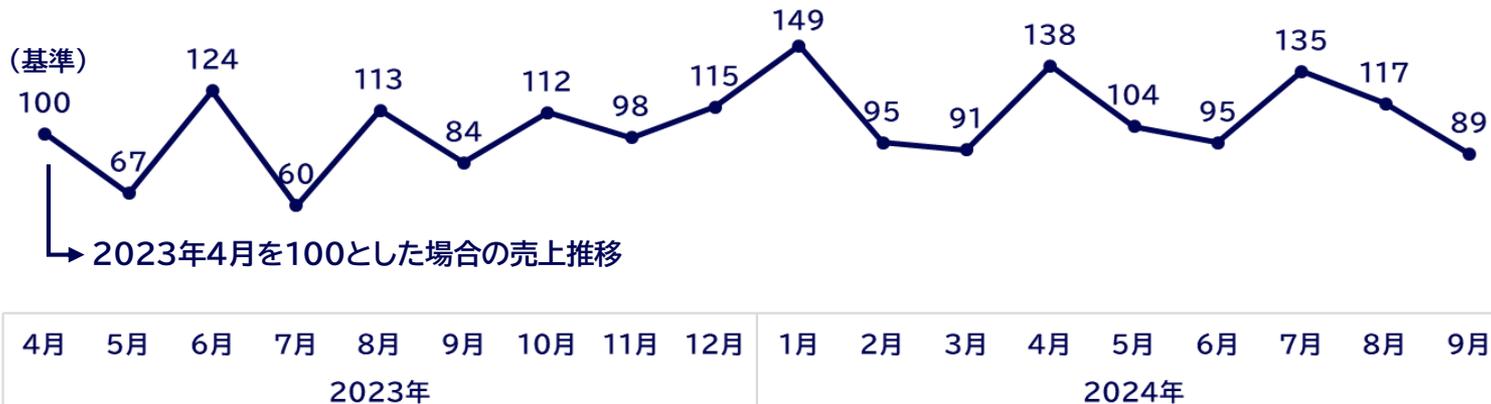
## 商品のポイント

- 長年培われた技術による高品質・高純度の商品
- 手ごろな価格で新規投資や贈答品に利用しやすく、新たな需要を取り込める

## スポット取引等の売上推移



## 前渡し取引の売上推移



一般的に変動の激しいトレーディングのイメージとは異なり、安定した収益が見込める

## オプション取引

### 主な顧客

南北アメリカ大陸の  
金・銀鉱山

### 各社のメリット

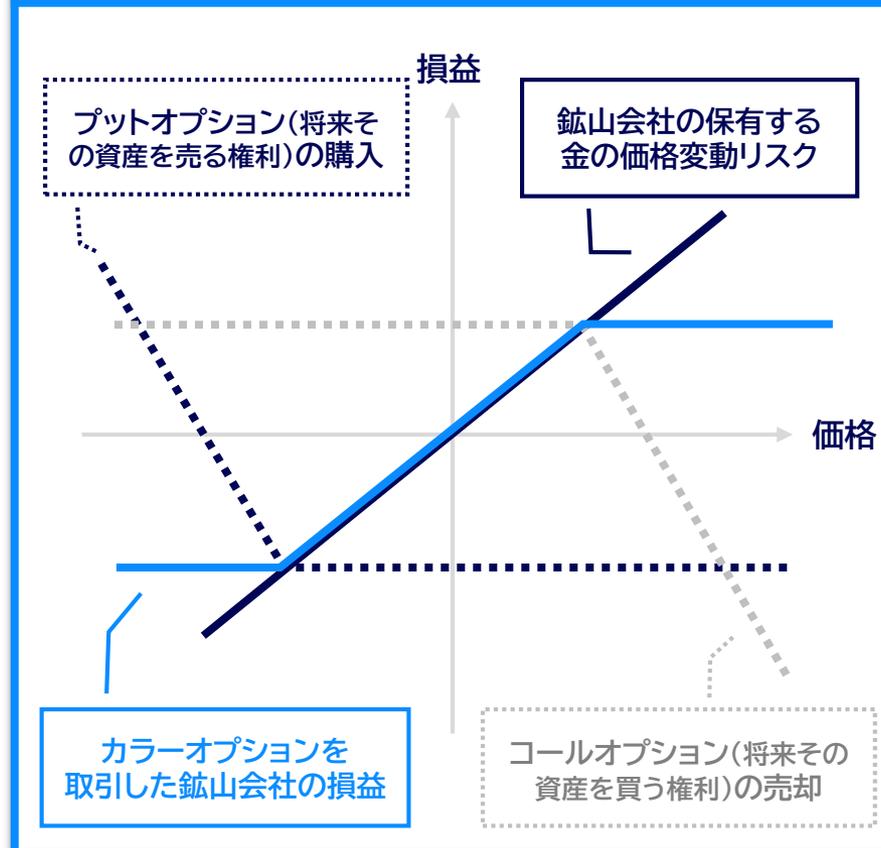
#### アサヒリファイニング

オプション取引からの利益とともに精錬契約の獲得からも利益発生

#### 鉱山会社

金価格上昇時の利益を一部放棄するものの、  
価格下落時の損失をヘッジ

### 鉱山会社から見たゼロコスト カラーオプションのヘッジ効果





分析・精錬



製品加工

- 2019年以降、プロダクト事業は好調に推移していたが、2023年後半より一転して苦戦
- 製品市場は変動が激しく、[収益状況が需給環境に左右されやすい](#)



COMEX認定倉庫を建設し、2023年より倉庫事業を開始

2024年  
9月末時点の保管量

Au

Ag

92万

1,749万

トロイオンス

トロイオンス



製品市場が**活発** ⇒ 市場へ流通させる



製品市場が**低調** ⇒ 自社倉庫へ搬入し保管料を得る

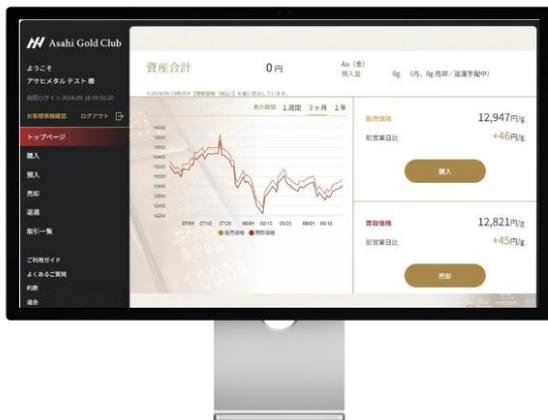


保管料  
1本あたり  
15ドル/月



保管料  
1本あたり  
8.5ドル/月

自社倉庫を持つことで、[条件の良い選択肢から選ぶ](#)ことが可能



### Asahi Gold Clubとは…

金地金の購入・預入から売却・返還までをシームレスに提供する包括的なソリューション。



## 1 柔軟な運用

- ✓ お客様が購入または預け入れた金地金を当社が消費寄託で保管
- ✓ 任意のタイミングでの売却または現物返還が可能

## 3 コスト効率

- ✓ 購入手数料・保管料は無料
- ✓ オンライン完結による効率的な運用

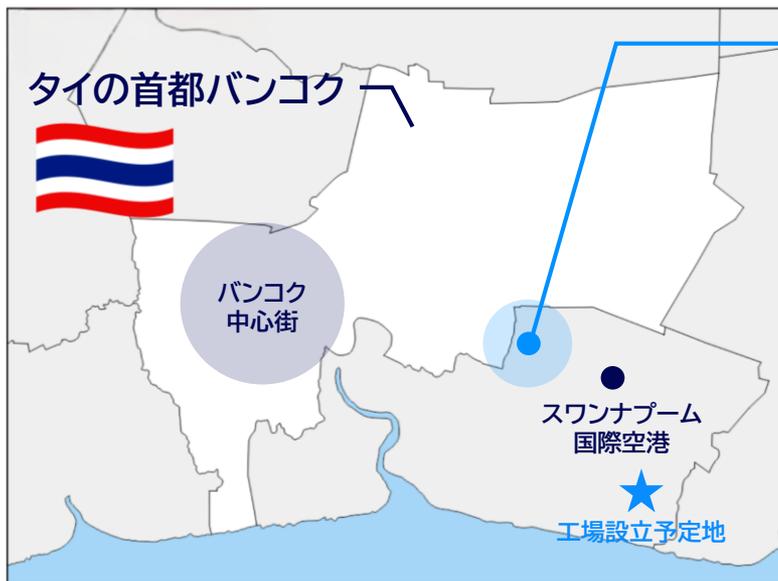
## 2 デジタル管理

- ✓ Web上で保有貴金属の管理が可能
- ✓ リアルタイムでの貴金属の資産状況、過去の取引履歴が確認可能

## 4 幅広い対応

- ✓ 当社ブランドの地金に加え、指定の他社ブランド地金も預け入れ可能

既存のお客様向けにサービスを開始し、徐々に新規のお客様向けに営業範囲を拡大する。



### タイのバンコク近郊に現地法人を設立

宝飾加工業者が集積する工業団地に現地法人を設立。宝飾関連の工場から発生する削りカスやスクラップ等の回収に優位な立地。

#### 会社概要

会社名	Asahi Pretec (Thailand) Co., Ltd.
所在地	Bangplee工業団地(バンコク市内より約60km)
資本金	約1億3百万円
出資者	アサヒプリテック株式会社 MHC Consulting (Thailand) Co., Ltd. Bangkok MUFG Ltd.

### タイの市場について

#### Au需要が旺盛な宝飾産業

宝飾関連のAu需要量は世界第12位の年間42.1トン※であり、日本の約3倍の規模。

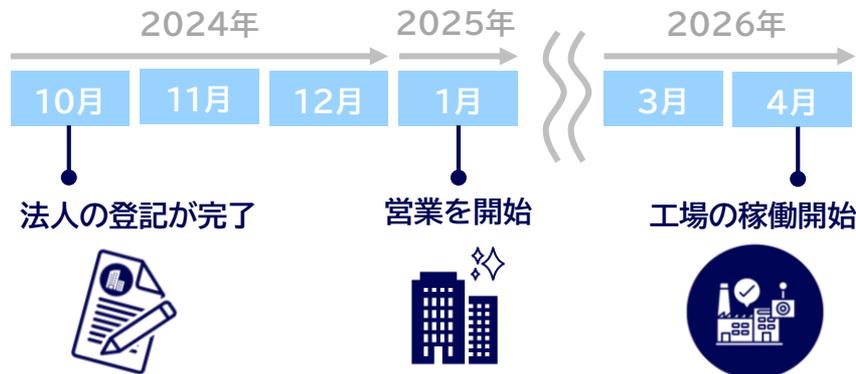
※「World Gold Council」のデータより算出

宝飾品向けのAuの精錬だけでなく、Pdをはじめとする白金族の精錬技術で競合他社との差別化を図る。

#### 発展を目指す電子産業

当社の既存顧客を含め、近年、電子基板メーカーのタイへの進出が活発化。

### 今後のスケジュール



経済産業省の「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」において、水素に関する達成すべき目標が掲げられている。

	現在	2030年	2050年
国内の年間導入量	約200万トン	最大300万トン	約2,000万トン
供給コスト	100円/Nm <sup>3</sup>	30円/Nm <sup>3</sup>	20円/Nm <sup>3</sup>

※資源エネルギー庁「水素を取り巻く国内外情勢と水素政策の現状について」より抜粋

供給コストの削減が課題

当社で水素の供給コストを削減するためには…

**固定費の負担軽減**  
(主に水素製造設備の減価償却費)



重水リサイクル事業の拡大

**変動費の削減**  
(主に電気代)

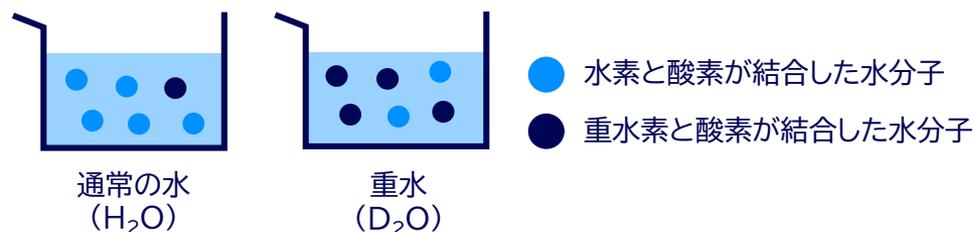


未利用電力の有効活用

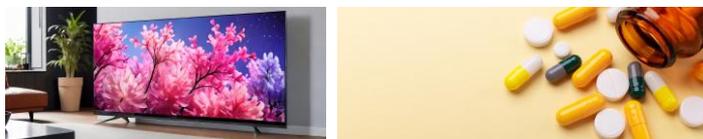
安価な水素の製造スキームを確立することで、水素の普及拡大に貢献する。

## 重水とは…

通常の水 ( $\text{H}_2\text{O}$ ) に含まれる水素 (H) を重水素 (D) に置き換えたものが重水 ( $\text{D}_2\text{O}$ ) であり、自然界には殆ど存在しないため、非常に高額で取引される物質。



### 有機EL向け発光材料および医薬品の重水素化



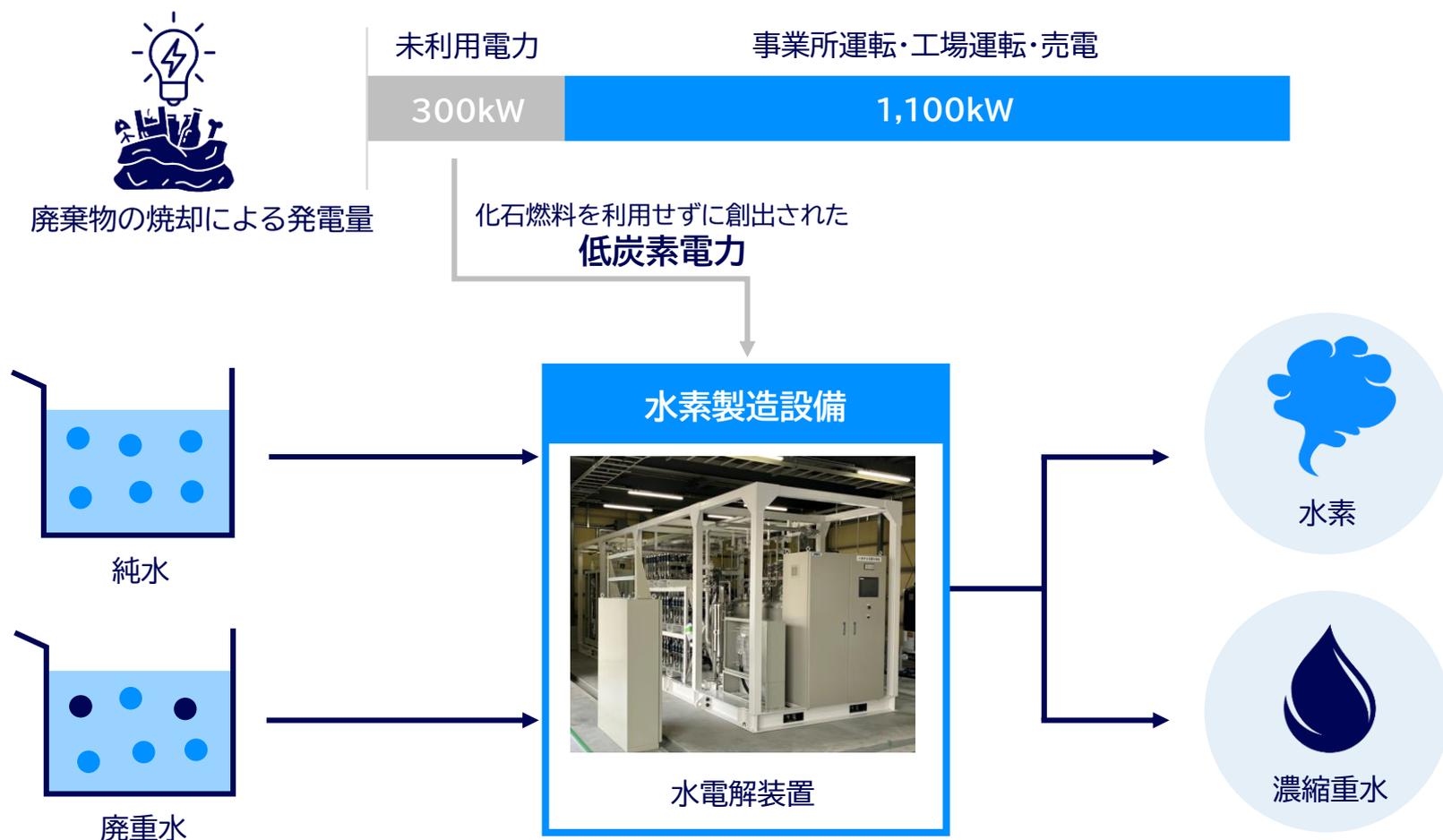
重水を使用した有機ELでは発光量と持続時間が向上し、医薬品では、効果の持続時間が伸びることで、投薬回数の減少と副作用の低減が期待される。

### 重水リサイクル事業拡大に向けた協力体制を構築



当社の子会社であるアサヒプリテック(株)とジャパンウェイト(株)、三井住友信託銀行(株)、英和(株)、エフシー開発(株)の5社で協力体制を構築する覚書を締結。

使用済みの重水(廃重水)を回収し、当社独自の濃縮技術によって再び製品として販売することで水素製造設備の投資負担軽減へ寄与する。



ジャパンウェイスト社の廃棄物発電所における未利用電力を活用し、電気代等の変動費を削減する。  
また、同一設備で水素と濃縮重水を併産することで、安価な低炭素水素の製造を目指す。

## 環境DX事業の推進

あらゆる産廃業務を  
デジタルで劇的に効率化！

マニフェスト管理 行政報告 電子契約

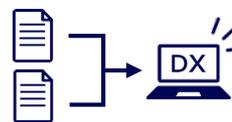


## DXE Stationとは…

産廃処理の一連業務をデジタルで効率的に一元管理し、産廃処理状況を可視化する産廃事業者向けのクラウドサービス。



産廃処理業務の効率化



廃棄物の適正管理の簡略化



持続可能な  
社会づくりに寄与

## 機能拡充したDXE Station「バージョンV3.3」をリリース

成約率

前年同期比  
**2.2倍**

顧客平均単価

前年同期比  
**+22%**

既存顧客への提案により成約率と顧客平均単価が向上

## 2024年度グッドデザイン賞を受賞

DXE Station

産廃の現場から  
紙とムダをなくす

マニフェスト管理、行政報告、電子契約  
あらゆる産廃業務を効率化します。



DXE Stationの分かりやすいUI/UXの設計や、  
導入産廃処理業者数などが評価。

単位：億円

	2024年 3月末	2024年 9月末	増減	備考
流動資産	2,538	3,058	520	
営業債権	1,553	1,976	423	営業債権残高および増減額の大部分は北米事業の前渡し取引等による借入金見合いの債権。
棚卸資産	339	373	34	棚卸資産残高および増減額の大部分は貴金属リサイクル事業の貴金属含有原材料/仕掛品/製品。原則として買取時に貴金属価格をヘッジしているため、価格変動リスク、品質劣化リスクともに限定的。
その他	646	708	62	
非流動資産	642	657	15	
資産計	3,180	3,715	535	
負債	1,915	2,417	502	
社債及び借入金	1,412	1,962	550	増減額の大部分は北米事業の前渡し取引等の借入金。原料入荷後に借入で前渡し地金を調達し、返済期日にあわせて貴金属価格をヘッジしているため、価格変動リスク、貸倒リスクともに極めて限定的。
その他	504	455	△ 49	
資本	1,265	1,298	33	
資本・負債計	3,180	3,715	535	

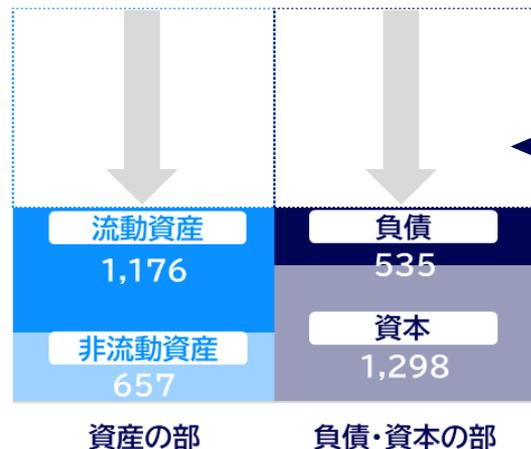
AREホールディングス連結BS

単位:億円



北米精錬事業を除いたBS

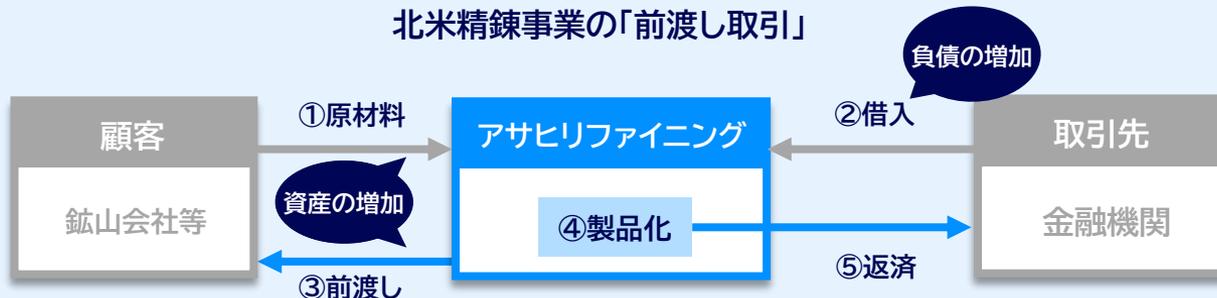
単位:億円



北米精錬事業の  
前渡し取引  
が主な要因

自己資本比率  
**70.8%**

北米精錬事業の「前渡し取引」



原材料を受領してから前渡しを行うため、貸し倒れのリスクは無い。

単位:億円

	2025/3期 2Q	備考
営業活動によるキャッシュフロー	112	
棚卸資産の増減額	△ 34	増減額の大部分は貴金属リサイクル事業の貴金属含有原材料/仕掛品/製品。
営業債権及び その他の債権の増減額	△ 706	増減額の内、△657億円は北米事業の前渡し取引等による借入金見合いの債権の増減額。
営業債務及び その他の債務等の増減額	683	増減額の内、+651億円は北米事業の前渡し取引等による借入金の増減額。借入金の増減額の内、北米事業の前渡し取引等による借入金の増減額は、財務CFではなく、営業CFの営業債権の増減額として表示。
その他	168	
投資活動によるキャッシュフロー	46	
財務活動によるキャッシュフロー	△ 42	
借入金が増減	0	
配当金の支払い額	△ 34	
その他	△ 8	
換算差額	9	
現預金の増減額	125	

## 設備投資の状況

単位:億円

	2024/3期 実績	2025/3期 2Q実績	2025/3期 計画
設備投資額	85	35	129
— 貴金属事業	61	34	126
国内	33	15	66
海外	28	19	60
— その他	24	1	3
減価償却費	36	14	31

※「その他」には環境保全事業の設備投資を含む

## 貴金属リサイクル事業 | 坂東工場の拡張(第2期)

## 坂東工場(第1期)



稼働中

処理分野



デンタル



宝飾

取扱元素



## 坂東工場(第2期)

2025年  
4月竣工  
予定

処理分野



触媒

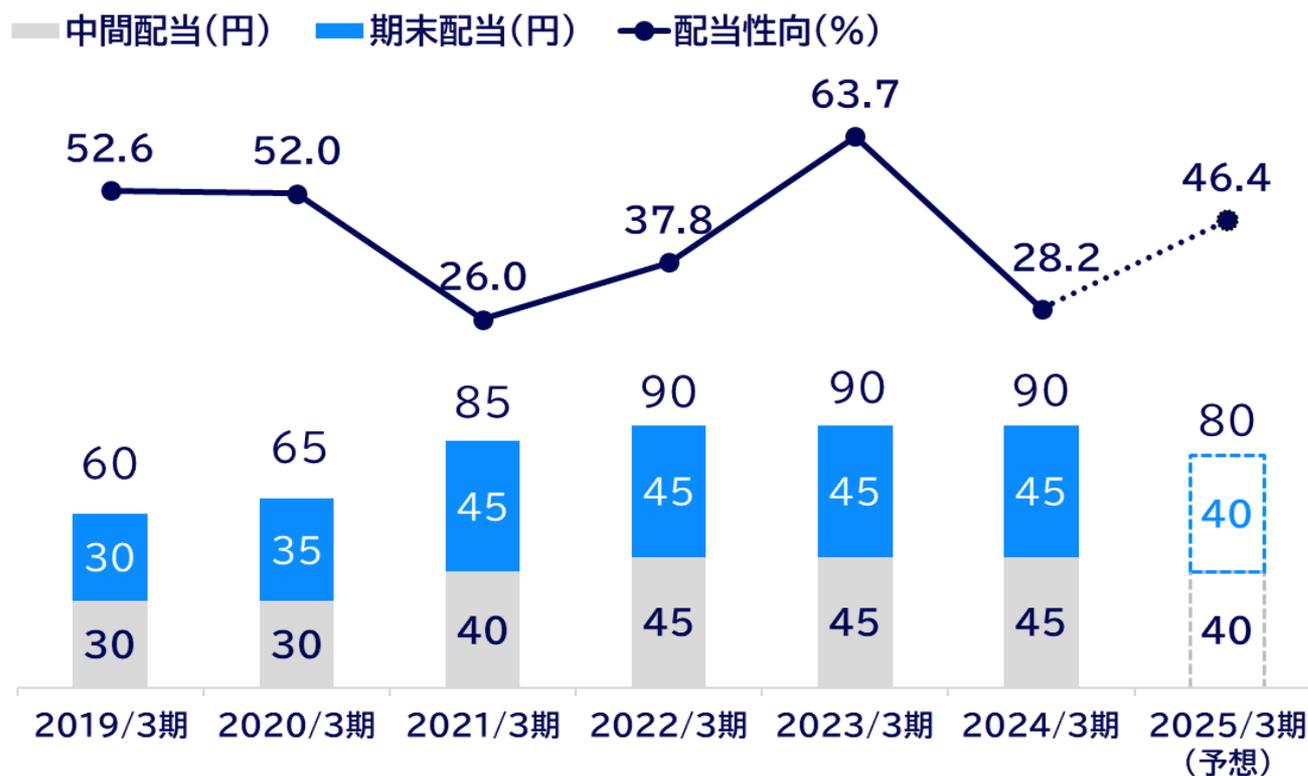


電子

取扱元素



愛媛工場で処理していた電子・触媒分野の生産機能を集約することで、効率的な生産とリードタイムの短縮を実現し、競争優位性を高める。



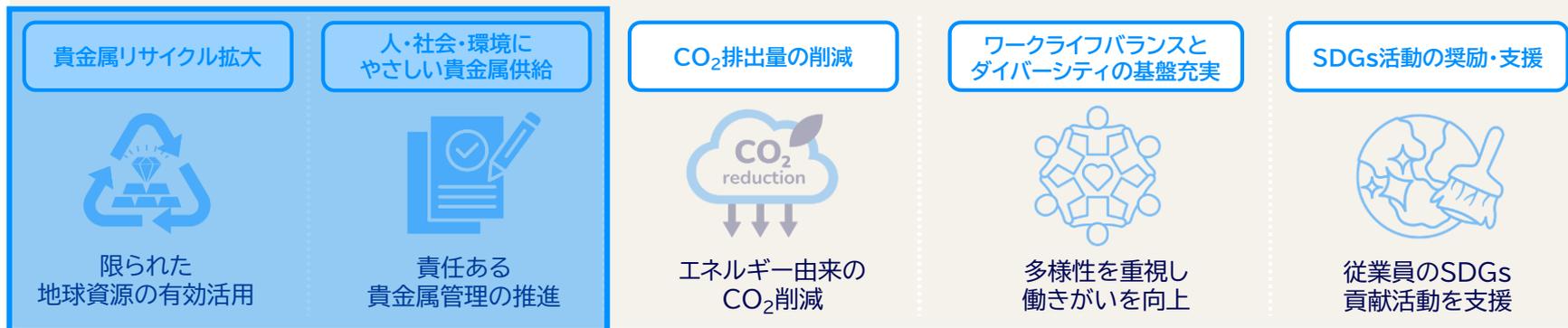
※2021年4月1日に1:2の株式分割を実施しており、2021/3期までの1株当たり配当金および1株当たり利益は分割後のベースに換算して表示

**配当性向40%を目安とした安定配当を継続。  
2025/3期については、自己株式取得により総還元性向は54.0%と予想。**

# I. 2025年3月期 第2四半期決算 (2024年4月～2024年9月)

## II. 参考資料

## SDGs重点テーマ



### 品質に関わる認証を継続取得



### 坂東工場で生産する製品で新たにUL2809の認証を取得



#### UL2809認証とは…

製品中のリサイクル含有率を評価、検証する規格。

UL2809認証  
取得品目

Auグラニューール/Auバー/Ptプレート

UL2809はリサイクルに関する認証として、電子業界を中心に需要が拡大しており、坂東工場での認証取得を通して、販売における商品プレミアムの向上を図る。

## 外部からの評価

MSCI  
ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	---	----	-----

CDP **A<sup>-</sup>**

2022年度実績における外部評価

## インデックス(含むESG関連)への採用



JPX-NIKKEI 400



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

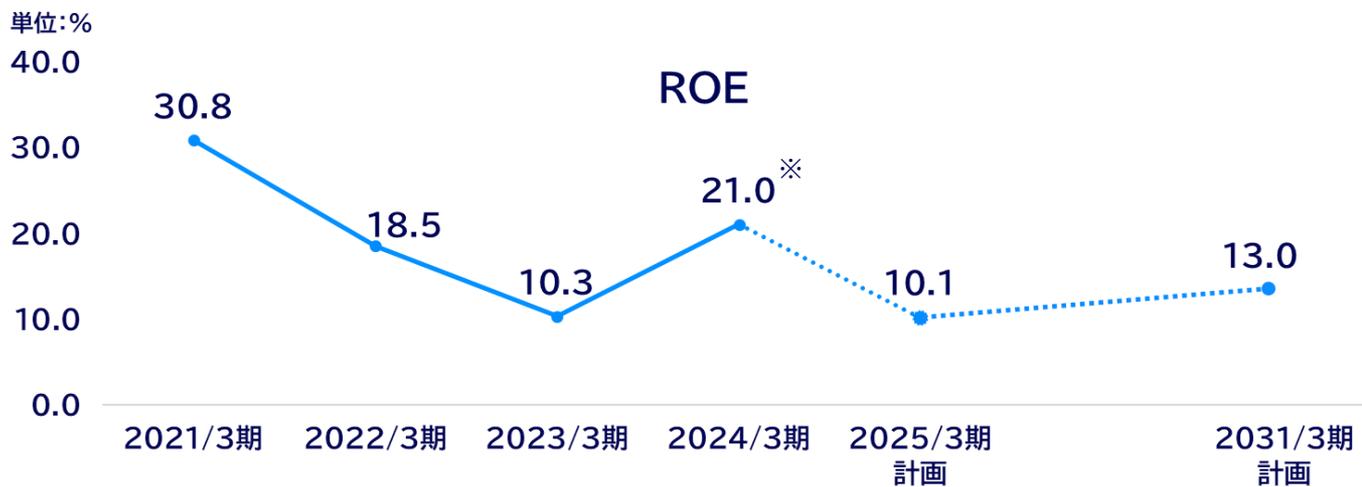


Morningstar®  
日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

ディスクレイマー

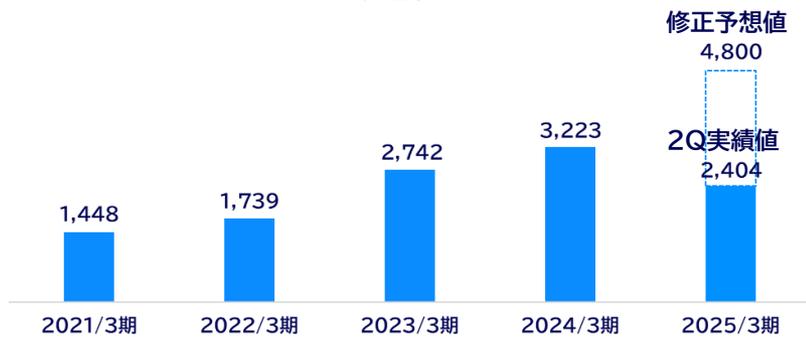
AREホールディングスを MSCI インデックスに含めること、および MSCI のロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名を使用することは、MSCI またはその関連会社がAREホールディングスを後援、承認、または宣伝することを意味するものではありません。MSCI インデックスは MSCI の独占的財産です。MSCI ならびに MSCI インデックスの名称およびロゴは MSCI またはその関連会社の商標またはサービスマークです。



※レナタス社とジャパンウェスト社の株式交換による影響を含む

単位:億円

売上収益



単位:億円

営業利益

